

緑のセンターだより

NO. 138 平成 22 年 9 月 1 日発行

発行元: (財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

シュウメイギク (秋明菊)

キンポウゲ科 イチリンソウ属

Anemone hupehensis var. *japonica* Bowles et Stearun*A. × hybrida*

Zucc

日本では本州、九州、四国などに分布し、京都の貴船山でよく見られることから別名「貴船菊」とも呼ばれます。

古くに中国から帰化した植物で、中国明朝時代後期の「三才図会」に「秋牡丹」の名称で記載され、この呼称は江戸時代、貝原益軒も「大和本草」で使用しています。

以後、日本の園芸書では「秋明菊」「秋牡丹」「しめ菊」「紫衣菊」「加賀菊」「越前菊」「貴船菊」「高麗菊」「秋芍薬」など多様な別名で親しまれています。

アネモネ・フペヘンシス(*A. hupehensis*)の変種であるシュウメイギクは全身が微毛に覆われ、多年草で、秋になると高く伸びた花茎の頂部と脇芽に大柄な花を数個咲かせます。花は八重咲きで花径が5~7 cm。花弁に見える部分は萼が変化したもので、萼片が30個ほどもあります。シュウメイギク(秋明菊)といってもキク科とは関係のないキンポウゲ科の植

物ですが、その花弁状に変化した萼と多数ある雄しべの様があたかもキクの花に似ていることから、前記の「~菊」などの名前と呼ばれたのでしょう。

植物学者シーボルト(Philipp Franz Balthasar von Siebold 1796~1866)もツッカーニー(Joseph Gerhard Zuccarini 1797~1848)も、名前の由来をそのように示しています。ちなみに、シーボルトとツッカーニーについては、同時代に活躍された植物学者で、シュウメイギクと同じようにイチイやコウヤマキ、ハクウンボクなど両学者共同で研究・分類した植物は少なくありません。これらは共著の日本植物誌(*Flora Japonica*)のなかでも示され、*Anemone japonica* Sieb. et Zucc.(シュウメイギクの異名)と、記されています。

今日シュウメイギクと呼ばれる園芸植物には、*A. hupehensis* var. *japonica*と*A. vitifolia*との交配種*A. × hybrida*があります。その代表的な品種に「レディ・ギルマー」や「クイーン・シャーロット」などがあり、多くは8~10月に開花します。現在一般に栽培される園芸品種は、雑種起源であるとみられ、紅色八重咲きのほか、萼片が卵形で5~6個の白色一重咲きがよく作られています。いずれも栽培は容易で、ときとして雑草化してしまうくらいです。たいていは庭の後ろあたりに植えられ、開花期に秋風に静かに揺れる風情が愛されています。

(T. K)

*Anemone hupehensis* var. *japonica*

9 月の 園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00～12:00、13:00～16:00
 ☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
 ☆百合が原公園 772-3511 木曜、日曜
 ☆平岡樹芸センター 883-2891 水曜、土曜

◆秋植え球根の植え付け

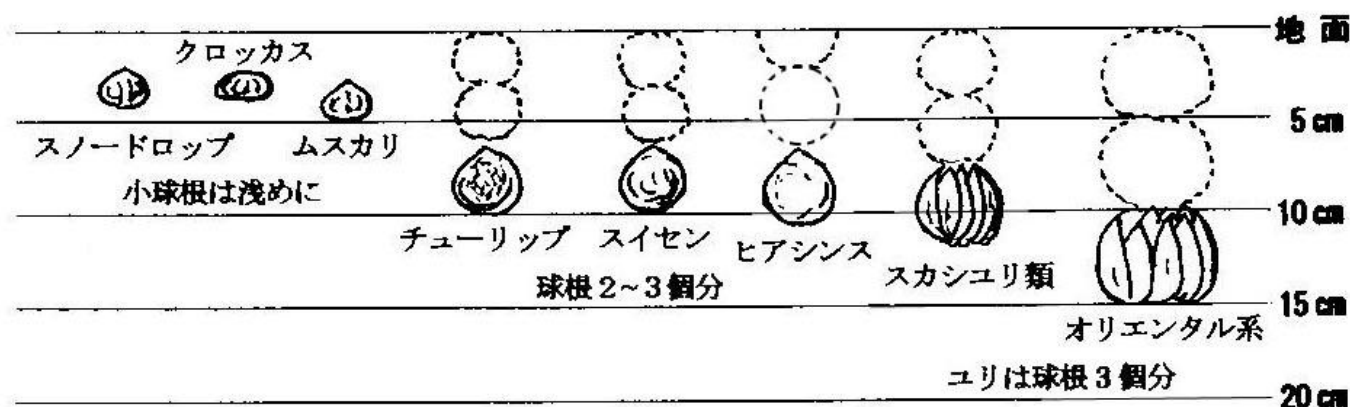
1. 購入した球根を植え付ける場合

項 目	内 容
(1)植え付け時期	<ul style="list-style-type: none"> ・9月下旬～10月上旬——クロッカス、ムスカリ、チューリップ、スイセン、スカシユリ類 ・10月中旬～下旬——ヤマユリ、オリエンタル系ユリ(カサブランカなど) ・11月——テッポウユリ
(2)植え付け場所	<ul style="list-style-type: none"> ・保水性、排水性が良く、腐植を含む肥沃で日当りの良いところが適しています。また、これまで同じ種類の球根を植えていない場所が良いでしょう。コンテナ植えの場合は、冬季間の凍結防止のため、積雪下になるところに置きます。
(3)植床の準備	<ul style="list-style-type: none"> ・植え付け日の約 7 日前に堆肥などを施してよく耕しておきます。植え付け時の元肥は必要ありません。
(4)植え付け方	<ul style="list-style-type: none"> ・庭植えの場合、深さはユリ以外の球根は地面より球根の高さの 2～3 個分下に、ユリは 3 個分下に植えます(下図参照)。間隔はいずれの種類も球根の幅の 3 倍くらいをとります。植えっ放しにせず、2～3 年に 1 回は掘り上げて植え替えます。 ・コンテナ植えの場合、深さは、チューリップやスイセンなどは、球根がかくれる程度に植えますが、ユリは上根を張らせるため出来るだけ深く植えます。間隔は球根の幅ぐらいいこします。毎年植え替えをします。
(5)植え付け後の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・庭植えの場合、火山灰地のように霜柱が立つようなところはマルチングをすると良いでしょう。 ・コンテナ植えの場合は、雪が降るまでの間は土が乾いたら水やりをします。 ・雪融け後と花後に追肥をします。

2. 庭植えのものを植え直す場合

- (1) チューリップやスイセンなどは、茎葉が半分以上枯れた頃(6月下旬頃)に掘り上げ、陰干しし、保存しておいたものを上記の要領で植え付けます。
- (2) ユリは掘り上げ後水洗いし、腐った鱗片や根を取り除き、乾かないようにして植えます。掘り上げの際に茎は取り除きます。連作を嫌うので植え付けは別な場所に植えます。
- (3) いずれの場合も植え付ける前に球根を選別し、殺菌剤のトップジン M 水和剤などの 500 倍液に数分間浸漬して消毒します。

球根を植えつける深さの目安



◆鉢花類 室内取り込みの準備

朝夕の気温が10度を下回る季節になると、そろそろ戸外の鉢花は入室の準備をします。入室に当たってその時期がポイントで、鉢花の種類によっては急ぐ物と、ある程度寒さに遭わせてから入室する物があります。主な鉢花毎に入室のタイミングとその後の管理など手順を確かめておきましょう。

主な鉢花の入室時期

入 室 の タイ ミ ン グ		
9 月上旬頃まで	9/中～10/上	～10/下
最低気温 12～13 度を下回る	最低気温 6～10 度まで	初霜の前まで
アデニウム、ハイビスカス、ポインセチア、ブーゲンビレア、熱帯性の観葉植物など	フクシア、ゼラニウム、ベゴニア類、カランコエ、シャコバサボテン、クラススラ(金のなる木)や耐寒性の観葉植物など	アザレア、サツキ、ジンチョウゲ、ヤツデ、ツバキ、クンシラン、ピラカンサ、マンリョウ、キョウチクトウなど

入室までの準備

- ① 入室まえは、水やりを調整し、肥料も控える。
入室前に一定の低温を要する鉢は水やりを控え体内水分を押さえる。
- ② 鉢の苔や跳ね土など汚れの清掃をする。
置肥の残りも綺麗に取り除き、鉢はタワシ掛けで洗淨する。
- ③ 茎葉の害虫の食痕、病斑を点検する。(2週間前くらい)
罹病葉や枯葉を除去して、殺虫・殺菌剤を散布。(スプレー剤適用)
また、1週間か10日前に、鉢土の中も消毒するとより良い。
その場合は薬剤の臭いが消えてから入室する。
- ④ 入室前に数日間、環境に慣らす必要がある。
3～4日間は、夕方玄関などに入れ、昼間は外に出すなどして室内環境に順応させる。



寄せ植え株の鉢上げ

ゼラニウム、四季咲きベゴニア、コリウス、ニューギニアインパチェンス、トラディスカンティアなど大鉢やプランターに寄せ植えしていた鉢花は、それぞれ刈り込み、間引き剪定を済ませて個別に鉢上げし、入室して養生すると早春までに開花、観賞できる株に仕上げられます。

◆ Q & A ◆

Q 我が家の芝生が夏場に入って部分的に茶褐色に枯れたようになってきました。地盤はやや湿地なので雨が多かったせいでしょうか、防除方法と通常の管理について教えてください。(北区 Hさん)

A おそらくブラウンパッチという芝生特有の病気です。葉の色が少し茶色に変わってきてほぼ円形に枯れ広がっていくのでこう言われます。

ブラウンパッチの発生経緯は、比較的湿度が高く、日中の気温が27～28℃を超え、夜間の気温が21℃を超える時に始まります。この病気は葉面の湿った状態が1日に10時間以上続き、しかもこのような日が数日連続するときに発生しやすくなります。夜間散水を行なうことや、窒素肥料を多施することは発病を助長します。

今年7月からの道内の異例的な「高温多雨、日照不足」はこの病気の最も発生しやすい気象条件といえます。

予防法として直接的には、ダコニールやオーソサイドなどの殺菌剤を散布します。発生状態があまりにもひどい場合には、少々大がかりな作業ですが、その周りをかなり大きく掘りとりて除去し、新しい土に入れ直して新しい芝生を張り直して、さらに上記の薬剤散布を行います。

年間の管理として、

- ・窒素成分を控え目にし、リン、カリ成分を適量よりやや多めに与える。
- ・刈高を3～3.5 cmにややあげる。
- ・刈りカスなどサッチを除去する。
- ・砂系の土を目土して通気性をよくする。
- ・樹木の枝などを剪定して日陰を減らし、日当たりをよくする。
- ・灌水をする場合は早朝に行う。
- ・早朝芝生の露をほうきなどで軽く払い、濡れている時間をできるだけ短くする。

などがあげられます。



9月～10月の催しのお知らせ

豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 011-811-6568

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室				
サボテンの秋冬の管理	9月12日(日)	13:30～	8/11(水)～	無料
鉢花・草花・球根類の秋管理	9月18日(土)	13:30～	9/11(土)～	無料
秋を楽しむミニ盆栽を作ろう	10月3日(日)	10:00～	〃	3,000円
セントポーリアの育て方	10月9日(土)	13:30～	〃	無料
展示会				
アレンジ押し花展	8月31日(火)～9月12日(日)		香穂花	入場無料
サボテンと多肉植物展	9月7日(火)～9月12日(日)		札幌カクタスクラブ	
きのこのパネル展	9月14日(火)～9月23日(木祝)		藻岩山きのご観察会	
きのこ展	9月22日(水)～9月23日(木祝)		藻岩山きのご観察会	
盆栽展	10月1日(金)～10月3日(日)		札幌盆栽会	
ご自宅のコチョウランをお持ちいただいて植え替えの個別指導をいたします。			事前に予約が必要です。	
コチョウラン植え替えサービスディ	9月29日(水)	9:00～	9/11(土)～	材料費実費
自然教室				
きのこの見分け方	9月23日(木祝)	13:30～	9/11(土)～	無料
クラフト教室				
押し花アート体験会 クリアホルダー&しおり	9月18日(土)	13:30～	9/11(土)～	1,000円
あけび工房 あけびと松ぼっくりのバスケット	9月29日(水)	10:00～	〃	2,000円

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 011-883-2891

講習会	内容	日	時間	申込開始	費用・備考
モミジとカエデの剪定		9月5日（日）	10：00～	8/11(水)～	300円
			13：30～	〃	〃
木を小さくする		9月11日（土）	10：00～	〃	〃
			13：30～	〃	〃
果樹の整姿剪定		10月9日（土）	10：00～	9/11(土)～	〃
			13：30～	〃	〃
クラフト教室					
ケーキを飾るお花のアレンジメント		9月16日（木）	10：00～	9/11(土)～	3,500円
テーブルフラワーアレンジメント		10月14日（木）	〃	〃	〃

百合が原公園 緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 011-772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

展示会	日	料金
ダリア展	9月7日(火)～9月12日(日)	大温室入館料130円
秋の洋ラン展	9月14日(火)～9月20日(月祝)	
盆栽・オモト展	9月24日(金)～9月26日(日)	

その他の公園

イベント 内容	日時	備考	問い合わせ先	
秋まんきつ！ 川下公園フェスタ	9月11日(土)・12日(日) 10:00～	一部コーナー有料	川下公園	879-5311
平岡公園ツリーウォッチング	9月15日(水)9:30～第1駐車場集合	無料	平岡公園	881-7924
さっぽろサケフェスタ2010	9月20日(月祝) 10:00～	一部コーナー有料	さけ科学館	582-7555
のうし秋まつり	9月25日(土)・26日(日) 10:00～	直接会場へ	農試公園	615-3680

豊平公園 緑のセンター 公式ウェブサイト <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

※「緑のセンターだより」バックナンバー公開中 ※